

世界遺産・高野山にて結縁灌頂参加！

世界遺産行脚の旅、今回は5 / 3に訪問した高野山金剛峰寺金堂で、毎年5月と10月に行われる「結縁灌頂（けちえんかんじょう）（注1）」に参加してまいりました。きっかけは弊社和歌山のお客様であるS建設のS様からのお誘いでした。私の弘己（ひろみ）という名前の弘は弘法大師様からいただいた名前ということで、ご先祖様は高野山の関係者で、今も親戚が現地で働いています。

（注1）仏縁を結ばせるために、灌頂壇で諸尊の上に花を投げさせ、当たった仏をその人の有縁の仏として、その仏の印と真言を授けること。

当日はお客様と現地集合で、私と当社関西事務所の島本君は朝7時に梅田で待ち合わせです。そのままナビに高野山金剛峰寺を入れて高速経由で高野山麓に行きます。そこは我が岡家の墓がある九度山（真田幸村幽閉の地で有名）があります。

大阪の両親が年老いてしまい、年に1回ほどしか

墓参りに行けないことから、雑草で汚れていることが想定されました。島本君は私と同じスピリチャル系で先祖供養に理解が深いこともあり、「ちょっと墓が気になるねんけど寄ってもいいかな？」の発言に、快く「良いですよ、行きましょう！」ということになり、途中お墓に立ち寄りしました。

予想通り墓はドクダミをはじめ雑草で覆われており、二人で綺麗に掃除をしました（写真①）。御蔭様で心まで綺麗に洗われ、後顧の憂いなく高野山に向かうことができました。到着後連絡を取り合い集合場所へ。



①

参加者は8名、退行催眠の陣野智巳先生をはじめスピリチャルな方ばかりで、会話は一般人には理解不明なこともスムーズに入ってきます。8名全員が自分の前世を知っており、私とも過去世で一緒に時代を過ごした方たちです。結縁灌頂は、最近、時間帯毎予約制になったということで、



②



③



④

先発組と次発組に分かれます。以前は到着順で、延々と続く長い列の中長時間待たされたそうです。先発組が参加している間に金剛峰寺周辺を散策し（写真②～⑥）、霊宝館で国



⑤



⑥



⑦

宝や重要文化財を有難く拝観しました（⑦⑧）。

その後先発組と合流して、南院で精進料理を食べました（写真⑨⑩）。大飯食らいの島本君はこれでは全く足りないようでした。

⑦重文 不動明王坐像 一躯 金剛峯寺 平安後期
⑧国宝 八大童子立像（矜羯羅童子像）一躯
（運慶作）金剛峯寺 鎌倉時代

昼食後、我々後発4名の参加時間になると「金堂」に入り儀式開始です。案内役の僧侶にいきなり「おめでとうございます」と挨拶されます。これから仏様とご縁を結ぶことができるわけなので、ともかくお



⑧



⑨



⑩

めでたいということのようです。結構若い僧侶の方が多く、皆機敏で無駄のない動きをしていました。薄暗い部屋で20人ほどの参加者たちが「南無大師遍照金剛（なむだいしへんじょうこんごう）」と唱え続けると偉いお坊さんが登場し、説法が始まります。仏教の「十戒」をお坊さんに続いてみんなで唱えます。殺したり盗んだり、嘘を言うてはいけないという戒律です。20名ほどがワンユニットでそれぞれのユニットごとに移動します。奥の間に通されると、いよいよ「秘儀」の雰囲気漂ってきます。参加者は紙で目隠しをされ、印を結んだ両指を、前を歩く人の背中に突き立てた感覚だけを頼りに、何も見えない中を僧侶に押されて進んでいきます。僧侶の説明によれば「仏様の中に入った感覚を味わってもらうため」なのだそうです。僧侶の皆さんが、親切に誘導してくれ、また段差もシールされていますので、安心感があります。この間、「おんさんまやさとぼん」という真言（サンスクリット語の呪文のようなもの）をずっと唱え続けます。「おん」の次に「サンマ屋」が「さとぼん」という風に3つに分けて頭に畳み込むと、スッと入ってきました。

とても長い時間この状態が続き、そこでトランス状態になりました。その後、僧侶の誘導に従って到達した地点で指の間に挟んだ葉を落とすと、「大日如来！」の声がかかる。目隠しを外して見ると、葉は曼荼羅図の中心にある真言宗のご本尊である大日如来の絵の上に落ちていました。これで仏様と自分のご縁が結ばれた、とのこと。これが結縁灌頂のメインの儀式です。このシーンは昔北大路欣也主演の映画「空海」を見たときの恵果阿闍梨に導かれた空海が行った儀式そのものでした。

その後、個別面談ブースに通され、年配の僧侶から頭に水をかけてもらい、独鈷杵のような器具を合掌した手にあてがわれて何事か呪文を唱えられる。そして、鏡に映った自分の顔を見せられ、「これが仏様となったあなたのお顔です」と言われます。心なしか良い表情になっていたように感じました。最後に、高野山高校の学生僧侶から今日使った目隠しに御朱印を押したもの、大日如来と書かれた紙に今日使った葉っぱを包んだもの、和紙でできた「結縁灌頂お守り」、「結縁灌頂血脉」という弘法大師様の絵がかかれた目録のような紙の4点の品をもらい、儀式は終了となりました（写真⑪）。良い経験を積ませていただきました。S建設のS様には心から感謝させていただきたいと思います。



⑪

当日の夜はS様のご厚意で、高野山から4 5分くらいの場所にある、S建設の別荘にご招待いただき、ワインを飲みながら趣のある囲炉裏で、翌日の玉置神社参拝のお話で盛り上がりました。



⑫